

2023年5月18日  
株式会社みずほフィナンシャルグループ

## 新しいブランドスローガン「ともに挑む。ともに実る。」について

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕）は、本日より、ブランドスローガンを「ともに挑む。ともに実る。」に一新します。

ともに挑む。ともに実る。



〈みずほ〉は、2013年からグループ共通のブランドスローガン「One MIZUHO 未来へ。お客さまとともに」を掲げてきました。

今般の企業理念の再定義※に伴い、新たに「パーパス」として「ともに挑む。ともに実る。」を制定しました。この言葉は、別紙のとおり、時代の先を読み、お客さま・社会の変化を捉え、課題に対するお客さまの挑戦を支え、自らも変革に挑戦しながらお客さま・社会とともに成長する決意を表現しています。

本日より、この言葉を新ブランドスローガンとして掲げ、スローガンに込めた〈みずほ〉の決意を全役職員が共有し、めざすべき姿の実現に向けてグループ一丸となって取り組んでいきます。

(※)2023年5月15日ニュースリリース「企業理念の再定義および新中期経営計画について」  
[https://www.mizuho-fg.co.jp/release/20230515\\_2release\\_jp.html](https://www.mizuho-fg.co.jp/release/20230515_2release_jp.html)

以 上

【別紙】

日本初の銀行である第一国立銀行。  
〈みずほ〉の源流の一つである同行が発足した1873年から150年。  
グローバル化の質的変化、ESGへの急速な意識の高まり、  
テクノロジーの進展に伴う社会変革、少子化・高齢化の加速など、  
時代はますます不確実性を増し、過去の延長線上に未来への解はありません。  
そんな時代を切り開いていくために、日本、そして世界には、  
多くの挑戦が求められています。  
これからの私たちは、あらゆる人々と関わり合いながら、  
これまでの常識を超える解をこれまでにないスピードで  
創出し続けなければなりません。

〈みずほ〉には、渋沢栄一、安田善次郎など数多くの先人が  
フェアでオープンな姿勢と先見性をもって、  
社会経済の発展に挑んできたDNAがあります。  
そして、現在の私たちには、だれよりも変化に先駆け、  
新しい価値を生みだそうとする熱意があります。  
こうした背景や思いを踏まえ、  
〈みずほ〉は、「ともに挑む。ともに実る。」をパーパスとして掲げます。

それは、お客さま一人ひとりの夢と希望に向かう挑戦に寄り添い、  
金融やコンサルティングの力で幸福な人生に貢献すること。  
それは、新しい技術や事業へ挑む企業に、  
他企業との協業や、事業・金融面のサポートをしながら、  
サステナブルな社会に向けてともに歩んでいくこと。  
そしてそれは、〈みずほ〉で働くすべての人がつながり合い、  
日々新たな視点で変革や改善に取り組み、未来を変えていくこと。

お客さまの挑戦を支え、自らも変革に挑戦しながら、豊かに実る未来を共創していく。  
その決意を新たに、私たちの思いをこのことばに託しました。

私たちの、新たな未来のスタートです。

ともに挑む。ともに実る。

**MIZUHO**

